

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～20 台を示し、平年並み～やや高めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり2.3トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり7.8kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.9トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4.2kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり9.19kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

定置網----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり6.85kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり1.7kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり2.04kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり4.84kgの水揚げで、前週の65%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/20～4/24の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～島根半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延2隻、総計139箱、1航海最高103箱、平均69.5箱。スルメイカ（20～30入）132箱、ケンサキイカ（2～2立半）7箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>